

レンタルラボ室フリーアクセス工事に関する仕様書

1. 適用範囲

この仕様書は、レンタルラボ入居企業が搬入設備の設置に関し、その配線・配管に関する手順について適用する。

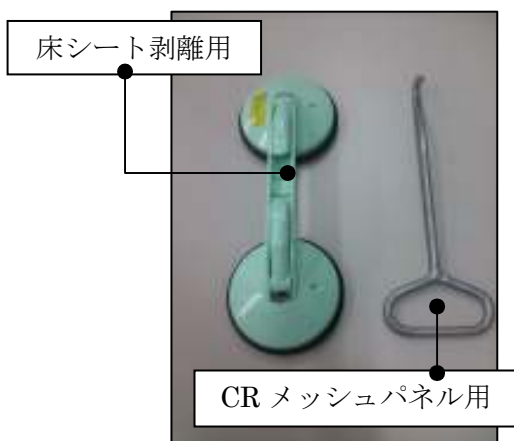
2. レンタルラボ室の床下の配管・排水・配線等について

入居企業は、事前にインキューベーション・マネージャー(IM)と工事内容を打ち合わせ、計画案を提示し承認を得る事。退室時の現状復帰を考慮し、復旧可能な工事内容とする。

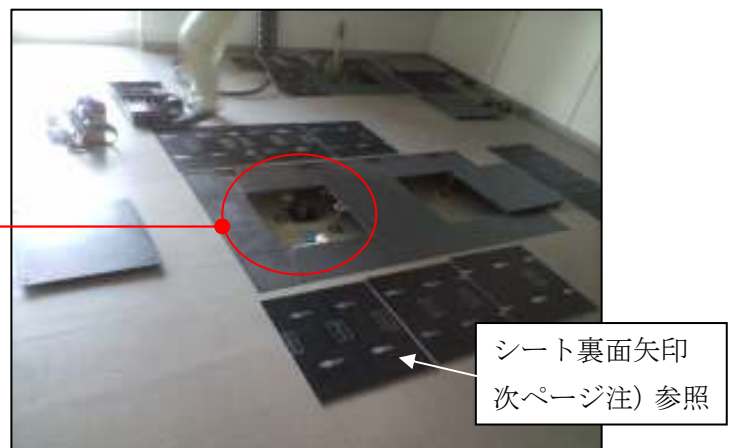
1) 接続ポイントの確認（排水・給水）

入居企業は、各レンタルラボ室床下に設置された接続ポイントを以下の手順で確認する。

- ・ 接続ポイントの確認は指定する、工具（図－1）を使用し床のシートを剥がす。剥がす場所は図－2 を参照。拡大写真は図－3 参照。
- ・ 工具はスタッフ室に保有してあるので、スタッフ室に申し込みする。



図－1 床剥ぎ工具



図－2 排水と給水ポイント（概ね部屋の中央）

拡大写真



図－3 接続ポイント拡大写真

拡大事例は、配管・給水の接続例を示す。

配管口：1ヶ所

給水口：3ヶ所

給水口 3ヶ所の内1ヶ所使用例

パネル固定ネジ

注) 床シート（剥いだシート）の取り扱い

- 1) 設備への接続は床下から立ち上げる箇所のシートは、復旧用に各入居企業が保管管理し同質の新規シートを使用して、立ち上げ部分のシート加工を行うものとする。
- 2) 剥いだその他のシートは、順番道理に図-2 の様に配置し、元と同じ位置に戻す事。
この際、**裏面の矢印方向を間違えない事**。剥いだときと同じ向き（矢印の方向）にして戻す事。順序を間違うと、隙間が出たりシートが入らなくなる。

2) 床下の排水・給水ポイントとの接続

- ・入居企業は、退室時の現状復帰を考慮し、復旧可能な工事内容とする。工事に当たってはその内容を事前にインキューベーション・マネージャに提出し了解を得ている事。
- ・接続ポイントとの接続は、溶接等現状復帰に困難な手法は原則として禁止とする。

3. 配線工事

1) 電話線の配線工事 （いずれも工事にかかる費用は入居企業が負担）

各部屋には、以下の専用電話が常設となっている。図-4 参照

①UFO 館内専用電話(3 桁)

②信州大学専用電話（4 桁接続：工学部内、局番+4 桁：他学部）



図-4

・外線を利用したい場合

- (1) 上記のうち①は外線への転用は可能であるが、電話機側（Panasonic：Telsh-V）の設定が必要で、各機能ボタンへの設定が必要。NTT 側へ外線工事を各入居企業が発注する。また、退室時は設定した各機能ボタンの設定は元の状態に戻す事。
- (2) 常設電話機を使用しないで、専用電話機を新設する場合
電話機と外線申し込みは、各入居企業が NTT 側へ外線工事依頼する。
この場合、常設 2 台の電話機の内、1 回線を引き当てる。どちらを引き当てるかは入居企業側にて決定するものとする。

(判断する場合の参考)

- ・信州大学専電話は、工学部構内（UFO 含む）の連絡が可能
- ・UFO 館内専用電話 UFO 館内のみの連絡で工学部内との連絡不可

(3) 各階の PS 内に設置された、BOX から新規に配線する場合

入居企業が NTT 側へ外線工事依頼する。退室時は、この新設回線は原則撤去の事



図-5 下側電源 BOX 内
UFO 館内電話



図-6 信大構内専用電話

2) インターネット接続工事

(1) 既存の接続を利用する場合

各レンタルラボ室には、1回線の LAN 接続口が常設されている(天井ラック上に設置)。これを利用する事が可能。使用料は無料

【大学構内 LAN の利用手順】

- ・利用希望企業はスタッフ室に所定の申込用紙に必要事項を記入の上申し込む。
接続に必要な IP 情報を発行するので、各企業の PC 管理担当者は、その情報に基づいて PC を設定する。

- ・大学側構内 LAN の主な概要

【受信】無条件に受信 【送信】大学側サーバー経由で送信 規制なし。

セキュリティの管理は各入居企業の PC 管理担当が、それぞれ設定してください。

セキュリティの面で不安がある場合は、専用回線を引くことをお勧めします。

(2) 専用回線を引き込んで利用する場合

◇ ラボ室のフロアーの PS 内には、B フレッツの接続口が用意されているので、そこから、光ケーブルで各部屋に引き込み、ONU を各部屋に設置し、そこから有線の LAN ケーブルを使用して、各 PC へ接続が可能。ONU の電源は各部屋のコンセントを利用するものとする。これによって各部屋の使用電気量が、それぞれの部屋毎に、月末時に自動で集計される。

◇ADSL についても、電話回線から利用可能。

- (1) 入居企業は、NTT 側に上記内容の開設工事を自己の負担で依頼する。
- (2) フリーアクセスで、各 PC に配線する場合は、各部屋の電源ボックスを利用して床下配線または天井ラック (図-6, 7 参照) を利用して配線することが出来る。工事費は入居企業が負担する。配線ルートはスタッフ室の担当者に事前確認の事。

フリーアクセス時のシート剥ぎと戻しの手順は、NO. 2 の 1) 項を参照の事。



図-7 天井ラック上の LAN 接続口



図-8 天井ラック外観



上部電源 BOX



下部電源 BOX